



～大学入学共通テスト(以下、共通テスト)まで1ヵ月を切りました～

2学期の期末試験が終わり、いよいよ共通テストが近づいてきました。共通テストを受験する3年生は、直前まで対策に取り組むこととなります。この時期はこれまで身につけてきた学力をより確かなものにすることに力を注ぐことが大切です。知識を固めた上で直前対策模試や直前演習で試験の演習に取り組み、落ち着いて当日を迎えられるよう準備してもらいたと思います。

ところで、1・2年生の中には、「共通テスト」について、「聞いたことがある」「なんとなく知っているけれどよく分からない」という人もいるかもしれません。今月は共通テストの概要や共通テストを活用した入試の仕組みについて取り上げます。

「共通テスト」を知ろう



★日本最大規模の試験「共通テスト」

「共通テスト」毎年1月13日以降の最初の土日に全国で一斉に実施される、日本最大規模の試験です。

国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。

★出題はマーク式、思考力・判断力を重視した作問

共通テストの解答方法は「マーク式」のみですが、全体的に知識や解法の暗記のみで解答できるような問題は減り、「思考力」「判断力」を発揮して解くことが求められる問題が出題されています。また、グラフ・地図・文章など読み取る資料の分量が多く、授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見して解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する場面など、学習過程を意識した場面設定が教科・科目を問わずみられます。

今年度まで実施の共通テストは6教科30科目の中から6～7科目の受験でしたが、1・2年生が受験する共通テストでは、新教科「情報」を加えた7教科21科目になり、**国立大は原則7教科8科目が必要**になります(大学によって科目や配点は異なります)。(以下の表は2025年度共通テストの出題教科・科目)

教科	出題科目	試験時間	配点	
地理 歴史	「地理総合,地理探究」 「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」	6科目から 最大2科目 選択 1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)	1科目 100点	
	「地理総合/歴史総合/公共」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>			
公民	「公共,倫理」 「公共,政治・経済」	公民2科目の組み合わせ、「地理総合/歴史総合/公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組み合わせ不可		
国語	「国語」 近代以降の文章に1問追加。近代以降の文章3問(110点)、古文1問(45点)、漢文1問(45点)で構成	90分	200点	
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	1科目選択 英語は別時間帯でリスニング試験を実施	英語リーディング、 その他外国語 80分 英語リスニング 60分 (解答時間30分)	200点 ※英語はリーディング100点、リスニング100点

教科	出題科目	試験時間	配点	
理科	「物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>	5科目から 最大2科目 選択	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)	1科目 100点
	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」			
数学	① 「数学Ⅰ,数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択	70分	100点
	② 「数学Ⅱ,数学B,数学C」* <small>*数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち3項目を選択解答</small>			
情報	「情報Ⅰ」 新設		60分	100点

「共通テストを活用した基本的な入試の仕組み」を知ろう

★国公立大学の入試～定員の約8割を一般選抜で募集～

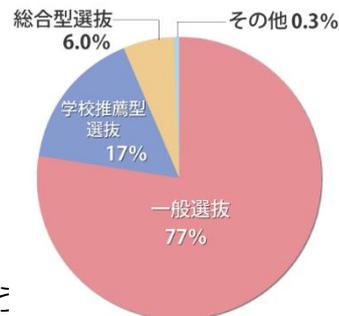
大学入試を大きく分けると、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜があります。

表は国公立大学の募集人員の割合を入試選抜方法別にみたものです。

近年、総合型選抜や学校推薦型選抜の募集人員枠が拡大していますが、

依然として一般選抜の募集人員枠が全体の約8割を占めています。

国公立大学志望者は、まず一般選抜での受験を考えて受験勉強をスタートさせましょう。

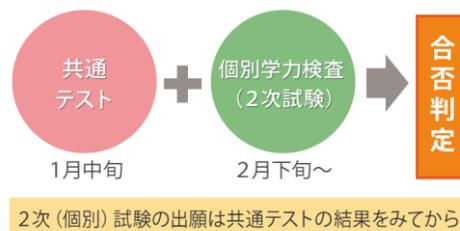


★国公立大学の入試～共通テストと2次試験（個別学力検査）～

国公立大学の一般選抜は、1次試験的役割を果たす「共通テスト」の得点と、大学別に実施される「2次試験（個別学力検査）」の得点の合計で合否を判定します。

つまり、国公立大学志望者は、「共通テスト」を原則受験することになります。自己採点を行った後、志望する大学に願書を提出します。

思うように得点できなかった場合は、当初考えていた出願校を変更しなければならなくなることもあります。出願時になって慌てないように事前に複数の志望校の候補を挙げておくことが必要でしょう。



★私立大学の入試

私立大学の入試も、大別すると国公立大学と同じように一般選抜と学校推薦型選抜、総合型選抜に分けられます。ここでは「一般選抜」について簡単に触れておきます。国公立大学との違いの1つは、例えば理系ならば英語、数学、理科といった3教科型が主流ですが、1、2科目の少数科目で入試を行ったり、ある特定の教科の成績を重視したりと、その方式はバラエティーに富んでいることです。また、各大学が入試日程、選抜方法を設定しているので、試験日が重ならなければ何校でも受験できます(ただしその分、費用と時間がかかりますよ!)。気になる私立大学があればチェックしてみよう。ちなみに国公立は最大3校しか受験できません。

私立大学の「一般選抜」は、各大学や地方会場で試験を実施する「一般方式」と共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」があります。「共通テスト利用方式」は、受験した共通テストの得点を利用できるので、個別の大学に受験に行く必要がなく、また併願校の受験方法として利用されることが多いです。ただし、高い得点率が求められる方式なので注意が必要です。

～充実した冬休みを過ごそう～



★学習面について

冬休み期間は、まとまった学習時間が取れる時です。課題にしっかりと取り組んだ上で、これまでの学習範囲を復習する計画を立ててみましょう。1月には進研学力テストがあります。これまでの学習範囲を復習することは、テスト対策にもなります。また、自分がどのくらい学習をしたかを書き留めておくと、後で見返したときに自信になります。課題だけでなく、「英語4技能目標スコア別トレーニング」などプラスアルファの取り組みも各自で積極的に行ってみてください。

★生活面について

夜遅くまで学習する習慣が身についてしまっている人も多いと思いますが、睡眠には、心身を修復したり、脳を休めたり、記憶を整理したりと、さまざまな働きがあります。適切に睡眠をとらないと、心身の疲れが取れないのはもちろん、学習したことも記憶として固定されず、忘れやすくなってしまいます。当たり前ですが、規則正しい生活のリズムこそが、記憶力を高めてくれるのです。

また、健康にも留意して過ごしましょう。風邪やインフルエンザ、コロナウイルスなども流行しています。日々の体調管理をしっかりと行い、充実した冬休みの生活が送れるように心がけましょう。

Merry Christmas and Happy New Year ☺

